

令和 1 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

| | |
|--------|----|
| 事務事業番号 | 21 |
|--------|----|

| | | | | | | |
|--------------|---|-------------|-------|-------|------|-----|
| 事業区分 | 一般ソフト事業 | 事務事業評価の履歴 有 | | | | |
| 事務事業名 | 福祉団体育成支援業務 | | | | | |
| 予算科目 | 3 款 1 項 1・7 目 | | | | | |
| 予算事業名 | 社会福祉総務費・在宅老人福祉事業費・介護保険事業費 | | | | | |
| 総合計画での位置づけ | 高齢者が活躍するまちをつくる | | | | | |
| 担当課 | 福祉課 | 担当課長 | 稲永 みき | | | |
| 事業担当者 | 村上 蓮 | | 一次評価者 | 阿部 哲也 | | |
| 事業の性格 | 自治事務 | | | | | |
| 法令根拠等 | - | | | | | |
| 事業の対象 | 福祉団体(ボランティア連絡協議会)、一般住民 | | | | | |
| 事業の目的 | 社会福祉協議会と共同して、地域福祉活動を支える福祉団体や福祉分野のボランティアを行う人々に対し、活動方法や運営についての支援を図り、安心して暮らしていける地域づくりを目的とする。 | | | | | |
| 実施期間 | 開始年度 | 13 年度から | | | | |
| | 終了年度 | 令和 年度まで | | | | |
| 事業の内容 | 福祉団体に助成することにより、各種団体の運営の支援を図る。 ボランティア連絡協議会 800,000円 元気サポーター養成講座(令和元年度よりフォローアップ講座含む) 159,000円 | | | | | |
| 目的達成の指標 | 団体会員数及び受講者数 | | | | | |
| | 区分年度 | 単位 | 30 年度 | 1 年度 | 2 年度 | 3年度 |
| | 目標 | 人 | 175 | 175 | 175 | 175 |
| | 実績 | 人 | 168 | 164 | | |
| 指標設定の考え方 | 団体活動の基礎となる会員数及び養成講座受講者数を指標とする | | | | | |
| 事業遂行時懸案事項等 | 会員の高齢化及び減少、サポーター養成講座の新規会員の募集 | | | | | |
| 事業実施時懸案事項対応等 | ボランティアの担い手不足の解消のため、広報等で活動をPRしていく | | | | | |

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 200 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

| 項 目 | 30 年度予算 | 1 年度予算 | 2 年度予算 | 3 年度予算 | |
|------|------------|--------|--------|--------|-------|
| 事務量 | ① 人工数 | 0.02 | 0.11 | 0.11 | 0.11 |
| | ② 人件費単価 | 7,350 | 7,555 | 7,137 | 7,137 |
| | ③ 補助事業人件費 | | | | |
| | 人件費(①×②-③) | 147 | 831 | 785 | 785 |
| 事業費 | 直接事業費 | 880 | 959 | 959 | 959 |
| | 人件費 | 147 | 831 | 785 | 785 |
| | 合 計 | 1,027 | 1,790 | 1,744 | 1,744 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | | | | |
| | 県支出金 | | | | |
| | 地方債 | | | | |
| | その他 | | | | |
| | 一般財源 | 1,027 | 1,790 | 1,744 | 1,744 |
| 合 計 | 1,027 | 1,790 | 1,744 | 1,744 | |

事業費計画

(千円)

| 区分/年度 | 30 年度 | 1 年度 | 2 年度 | 3 年度 | 4 年度 |
|-------|-------|------|------|------|------|
| 目 標 | 880 | 959 | 959 | 959 | 959 |
| 実 績 | 880 | 959 | | | |

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

| 項目 | 単位 | 30 年度 | 1 年度 | 2 年度 | 3 年度 |
|---------------------|----|-------|------|------|------|
| 会員募集広報数 | 回 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | | 4 | 4 | | |
| サポーター養成講座(1回あたり5講座) | 回 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | 1 | 1 | | |
| フォローアップ講座(1回あたり5講座) | 回 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | 1 | 1 | | |
| サポーター養成講座募集周知回数 | 回 | 5 | 5 | 7 | 7 |
| | | 4 | 4 | | |
| フォローアップ講座募集周知 | 回 | 5 | 5 | 7 | 7 |
| | | 4 | 4 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 204 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

| 項 目 | 30 年度決算 | 1 年度予算 | 1 年度決算 | |
|------|------------|--------|--------|-------|
| 事務量 | ① 人工数 | 0.02 | 0.11 | 0.11 |
| | ② 人件費単価 | 7,187 | 7,555 | 7,891 |
| | ③ 補助事業人件費 | | 0 | |
| | 人件費(①×②-③) | 143 | 831 | 868 |
| 事業費 | 直接事業費 | 880 | 959 | 959 |
| | 人件費 | 143 | 831 | 868 |
| | 合 計 | 1,023 | 1,790 | 1,827 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | | 0 | 0 |
| | 県支出金 | | 0 | 0 |
| | 地方債 | | 0 | 0 |
| | その他 | | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 1,023 | 1,790 | 1,827 |
| 合 計 | 1,023 | 1,790 | 1,827 | |

実施備忘録

| | | |
|------|-----|------|
| 自己評価 | 評価者 | 村上 蓮 |
|------|-----|------|

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

| 1. そもそも必要な事業か？ | 評点 | 判定 |
|--|----|----|
| <input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。 | 3 | B |
| <input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。 | 3 | |
| <input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。 | 3 | |
| <input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。 | 4 | |
| 2. 町が実施する必要があるか？ | | |
| <input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。 | 4 | B |
| <input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。 | 4 | |
| <input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。 | 3 | |
| <input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。 | | |
| 3. 実施内容は適切か？ | | |
| ①有効性 | | |
| <input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。 | 3 | B |
| <input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。 | 3 | |
| <input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。 | 4 | |
| ②効率性 | | |
| <input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。 | 3 | C |
| <input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。 | 3 | |
| <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。 | 3 | |
| ③公平性・透明性 | | |
| <input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。) | 3 | C |
| <input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。 | 3 | |
| <input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。 | 3 | |

| 今後の方向性 | 見直しの具体的内容 |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> A重点化 <input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了 | <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他 |

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

介護保険法の改正に伴い、地域包括ケアシステムの構築をするために、町民ボランティアの協力、育成が必要不可欠となっている。そのため、活動人数の増加や人材育成を目的とした福祉団体への支援は必要である。ボランティア連絡協議会は、年に一度、総会を開催しており、決算や活動状況報告をボランティア会員や町の関係者、議会の代表、地区の代表等を招いて実施しており、活動の透明性を維持している。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

令和元年度は元気サポーター養成講座を5回実施しており、また、フォローアップ講座も開催し、受講後の支援体制もとっている。新規会員の確保に努めるため、民生委員児童委員等に声をかけ、受講を促した。来年度は、さらに新規会員の開拓を目指し、各種団体に依頼、講座内容の検討をしていく。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

| | | |
|------|-----|-------|
| 一次評価 | 評価者 | 阿部 哲也 |
|------|-----|-------|

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

| 1. そもそも必要な事業か？ | 評点 | 判定 |
|--|----|----|
| <input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。 | 3 | B |
| <input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。 | 3 | |
| <input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。 | 3 | |
| <input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。 | 4 | |
| 2. 町が実施する必要があるか？ | | |
| <input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。 | 4 | B |
| <input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。 | 4 | |
| <input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。 | 4 | |
| <input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。 | 4 | |
| 3. 実施内容は適切か？ | | |
| ①有効性 | | |
| <input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。 | 4 | B |
| <input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。 | 3 | |
| <input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。 | 3 | |
| ②効率性 | | |
| <input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。 | 4 | B |
| <input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。 | 3 | |
| <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。 | 3 | |
| ③公平性・透明性 | | |
| <input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。) | 4 | B |
| <input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。 | 4 | |
| <input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。 | 4 | |

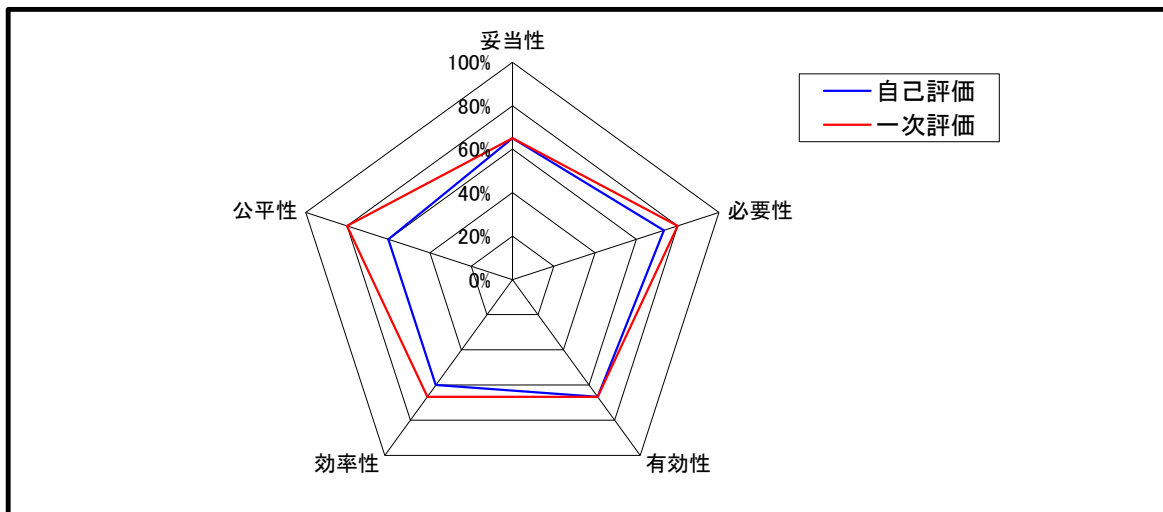
| 今後の方向性 |
|--|
| <input type="checkbox"/> A重点化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持 |
| <input type="checkbox"/> C見直し |
| <input type="checkbox"/> D廃止 |
| <input type="checkbox"/> E事業完了 |

| 見直しの具体的内容 |
|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 |
| <input type="checkbox"/> 事業の効率化 |
| <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 |
| <input type="checkbox"/> 事業縮小 |
| <input type="checkbox"/> その他 |

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

地域包括ケアシステムの構築は近年国が進めているものであり、また、介護保険のサービスから住民主体サービスに切り替えていく必要もあるため、ボランティア人材の協力や育成が必要である。しかし、会員数は微増となっており、活動人数の増加のための周知の仕方等検討する必要がある。今後も人材育成を目的とした福祉団体への助成を継続しながら、団体関係者と増加の方法等協議していく。

自己評価・一次評価の傾向



| | | |
|------|-----|-------|
| 二次評価 | 評価者 | 稲永 みき |
|------|-----|-------|

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

高齢者福祉事業に福祉ボランティアの協力は必要不可欠である。今後も社会福祉協議会と連携を図り、育成に力を入れていく必要がある。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

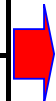
一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

外部評価

| 今後の方向性 |
|--|
| <input type="checkbox"/> A重点化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持 |
| <input type="checkbox"/> C見直し |
| <input type="checkbox"/> D廃止 |
| <input type="checkbox"/> E事業完了 |

➔

| 見直しの具体的内容 |
|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 |
| <input type="checkbox"/> 事業の効率化 |
| <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 |
| <input type="checkbox"/> 事業縮小 |
| <input type="checkbox"/> その他 |

| |
|----|
| 評価 |
| B |

外部評価委員の意見

○評価
高齢者が地域で安心して暮せるまちにするために、利用者のニーズを確認しながら、計画どおり事業を進めることが適当である。

○課題
ボランティア団体の会員数および元気サポーター養成講座受講者数が目標に達していない。

○提案
・事業の目的や必要性、参加のメリットを発信するなど情報発信を工夫し、会員数を増やす取り組みを行う必要がある。
・参加者、利用者双方の意見や満足度を収集する仕組みを検討する必要がある。

経営者会議

| | |
|--------------|----|
| 経営者評価 | 町長 |
|--------------|----|

| 今後の方向性 |
|--|
| <input type="checkbox"/> A重点化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持 |
| <input type="checkbox"/> C見直し |
| <input type="checkbox"/> D廃止 |
| <input type="checkbox"/> E事業完了 |

➔

| 見直しの具体的内容 |
|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 |
| <input type="checkbox"/> 事業の効率化 |
| <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 |
| <input type="checkbox"/> 事業縮小 |
| <input type="checkbox"/> その他 |

| |
|----|
| 評価 |
| B |

経営者会議の評価

高齢者が地域で安心して暮せるまちにするために、地域包括ケアシステムの構築を推進する必要がある、本事業は、その構築を行う上で必要な事業である。

地域デイサービスの活動を支援する元気サポーターは、一定の活動者数を確保しているが、本事業を継続して実施するためには、引き続き人材の確保が必要であり、今後は、研修などのフォローアップに力を入れる必要がある。

また、養成講座の内容や周知方法を再考すること、活動の意義や現在までの取り組みを分かりやすく広報するなど、元気サポーターの活動の周知を強化することで、新たな人材の確保に取り組んでいきたい。

令和 3 年度予算要求事項(今後の取り組み)

ボランティア団体の会員数を増加していくため、また、地域包括ケアシステムの構築を推進していくため、元気サポーター養成講座事業の委託先である社会福祉協議会と連携し、講座内容の再考、活動の周知を行っていく。周知方法としては、活動内容やサポーターの様子などを広報誌やホームページに掲載する。このことにより、地域で介護予防に取り組んでいくことの必要性や、サポーター自身の予防活動にもつながることを周知し、新たな人材の確保に努めていく。

また、現在活動中のサポーターに対してのフォローアップ講座にて、サポーター同士の交流や情報交換、専門職の介入などを行い、サポーター自身がやりがいを感じる事が出来る事業にしていきたい。